

○地方公共団体における就職氷河期世代支援に係る中途採用に関する調査の結果

1. 令和2年度の就職氷河期世代支援に係る中途採用試験の採用者数と実施団体数

採用者数

団体区分	採用者計 (ア+イ)	ア 就職氷河期世代を 対象とした採用試験	イ 中途採用試験 ※就職氷河期世代 受験可能	
			うち就職氷河期世代 (34歳～49歳)	
都道府県	2,125 人	191 人	1,934 人	832 人
指定都市	791 人	107 人	684 人	349 人
市区町村	4,642 人	379 人	4,263 人	1,836 人
全団体	7,558 人	677 人	6,881 人	3,017 人

実施団体数

団体区分	ア 就職氷河期世代を 対象とした採用試験		イ 中途採用試験 ※就職氷河期世代 受験可能	
	団体数	実施率	団体数	実施率
都道府県 (47団体)	31 団体	66.0%	43 団体	91.5%
指定都市 (20団体)	15 団体	75.0%	20 団体	100.0%
市区町村 (1722団体)	138 団体	8.0%	828 団体	48.1%
全団体 (1789団体)	184 団体	10.3%	891 団体	49.8%

※「ア 就職氷河期世代を対象とした採用試験」とは、主として大卒程度で概ね38歳～49歳、高卒程度で概ね34歳～45歳（R2.4.1時点）の者を対象として、就職氷河期世代の支援を目的とすることを明示した職員採用試験をいう。

※「イ 中途採用試験（就職氷河期世代受験可能）」とは、主に新卒者を対象とした職員採用試験以外の中途採用試験で、かつ、ア以外の中途採用試験のうち、就職氷河期世代の者が受験することができる（当該世代のうち一部の者が受験できる場合も含む）職員採用試験をいう。